

治療用電気手術器

（2004年～2008年度報告） ○：報告あり、数字：報告件数、[ ]：転帰状態を示す

患者等の有害事象 機器の状況	内胸動脈損傷、出血、ショック	出血	出血、肝不全	黄疸、肝不全	急性大動脈解離	横隔膜ヘルニアの伴う敗血症	血胸	腹腔内出血	横隔膜穿孔の疑いによる胸腔内出血	尿管損傷による肝梗塞	胆道内出血	消化管穿孔	腹壁血腫	皮膚熱傷	対極版熱傷	熱傷	後日再治療／播種の可能性	空気塞栓による低酸素症	なし
	a	b	c																d
不明	1 ○[死亡] 機器と死亡との因果関係が評価できない	○2[死亡] 機器と死亡との因果関係が評価できない	○[死亡] 機器と死亡との因果関係が評価できない	○[死亡] 機器と死亡との因果関係が評価できない	○[死亡] 機器と死亡との因果関係が評価できない	○[死亡] 機器と死亡との因果関係が評価できない	○[回復]	○[軽快]	○[回復]	○[軽快]	○[回復]	○[未回復]	○[軽快]	○[回復]	○[回復]				
絶縁コーティングのはがれ	2															○[軽快] ○[経過観察]			
針折れ	3																		○[-]
出力停止状態となる	4																○[軽快]		
電源が立ち上がらない	5	○[回復]																	
通電できず	6																○[軽快]		
なし	7										○[軽快]				○[回復]			○[入院中]	